

官民連携による人材確保プロジェクト ～これまでの活動状況と来年度の取り組み（案）～

資料 1

令和 2 年 2 月 1 7 日
秋田地域振興局

プロジェクトの目指すもの

地元企業の「採用力向上」、「離職率低下」、「認知度向上」を官民が連携して実践することで県内外の若者の県内就職・定着を促進する

秋田県の人口減少（社会減）を抑制する

これまでの活動内容

- 秋田県の人材を育てるために行動する社長会議の開催
 - ・意見交換、協議、情報共有（調査分析、課題抽出）
 - ・県外経営者の講演会
- 採用力向上、認知度向上のための実践行動
 - ・A ターンフェア
 - ・高校 2 年生向け企業ガイダンス
 - ・中学生向け地域企業ガイダンス
- 離職率低下に向けた実践行動
 - ・若手社員異業種交流会

〔関連事業〕

- ・社長会議と地域おこし協力隊との座談会（R1.11.27 3社参加）

※今年度の実施状況

- ・社長会議
 - R1. 7.16 13社
 - R1.11.19 11社（県外経営者講演会）
 - R2. 2.17 12社
 - ・A ターンフェアin東京
 - R1.10.27 4社
 - R2. 2. 9 2社
 - ・高校 2 年生向け企業ガイダンス
 - R1.11.22 14社 高校生710名
 - ・中学生向け地域企業ガイダンス
 - R1. 5.24 10社 潟上市 3校246名
 - R1.10.25 10社 外旭川中 80名
 - ・若手社員異業種交流会
 - R2. 2. 5 8社 17名
- ※地域振興局職員3名を加え、計20名で実施

- ・大学生向けのPRが難しい ※秋田大学、県立大学訪問結果を参照
- ・企業により欲しい人材が異なる（中学生、高校生向けの事業が多い） ※10月実施アンケート結果を参照
- ・意見交換、協議で出た意見の共有は図られているが、実践行動の割合を増やしていかないとけない

令和2年度の活動（案）

1 社長会議の開催（3回程度）

- （想定内容）
- ・具体的な実践行動に向けた提案と協議（例：離職者を企業同士で紹介し合う制度の検討）
 - ・採用手法等に関する勉強会
 - ・県外企業の社長等を招いた講演会

2 実践行動

〔人材確保関連〕

- ・Aターンフェアへの参加
- ・大学生に対する県内企業PR
秋田大学の地域文化学科1年生必修授業「キャリアデザイン基礎」への参加 4月23日（木）、5月7日（木）
(株)向学舎グループ大学生アルバイト対象の企業説明会 6月28日（日）秋田駅東校
- ・高校生、中学生向け企業説明会への参加
高校2年生向け「地元企業の魅力発見！秋田地域企業ガイダンス」 1回（今年度は11月に開催）
中学生向け地域企業ガイダンス 管内4中学校＋アルヴェで開催

〔離職防止対策〕

- ・若手社員等の異業種交流会の実施 ※R2.2.5開催「若手社員異業種交流会」の報告を参照

これ以外にも社長会議等で実施の必要性が認められたものは年度途中でも企画・実施する。